

(様式3)

公共事業再評価調査

| | | | | |
|--------------|--|---|-------------|------------|
| 番 号 | 道路—3 | 事業担当局課 | 瀬谷区 瀬谷土木事務所 | |
| 事業名 | 県道瀬谷柏尾（本郷その2地区）道路改良事業 | | 採択年度 | H18 |
| 施工場所 | 瀬谷区本郷一丁目、二丁目 | | 経過年数 | 12年 |
| 目的及び 事業概要 | <p>目的</p> <p>県道瀬谷柏尾は、瀬谷区を南北に縦断する主要幹線道路で瀬谷区北西部では国道246号、大和市等から相鉄線瀬谷駅方面へのアクセス道路として重要な役割を担っている路線です。</p> <p>しかし、当該事業路線延長300m区間においては道路幅員が5.5m～7.0m程度と狭く、バス運行のすれ違いに支障をきたしており、また歩道未設置区間のため歩行者通行による渋滞の原因となっております。大門小学校の学区内通学路として通学児童等、歩行者の安全確保、車両の渋滞解消を目的として両側に歩道設置し道路整備を行うものです。</p> <p>事業概要</p> <p>県道瀬谷柏尾（本郷その2地区） 延長300m 幅員11m（車道7m 歩道2m×2）用地面積1,500m²</p> | | | |
| | | | 当初(事業採択時) | 変更(平成27年度) |
| | 事業期間 | | H18～H22 | H18～H32 |
| | 事業費 | 合 計 | 668百万円 | 978百万円 |
| | | 国 費 | — | 610百万円 |
| | | 市 費 | 668百万円 | 368百万円 |
| | 変更内容 | 用地交渉に時間を要しているため事業期間を延伸し、補償費についても精査し事業費を変更しました。 | | |
| 上位計画等 | <p>横浜市中期4か年計画（2018～2021）の政策20「市民に身近な交通機能等の充実」の施策2で「歩行者の安全確保や地域の利便性の向上」を掲げています。</p> <p>本事業区間は、相鉄線瀬谷駅へのバス路線であり、歩道設置や車道整備により渋滞解消、バス運行定時性の確保、歩行者の安全性の向上を図るものです。</p> | | | |
| 関連事業 | — | | | |
| 事業の 必要性 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | <p>近年、この地域は宅地開発が進み、住宅が多く建設されております。</p> <p>また、平成27年6月に旧上瀬谷通信施設が米軍から返還、平成28年3月に市道環状4号線上瀬谷地区の開通、瀬谷駅南口市街地再開発事業や二ツ橋北部土地区画整理事業の開始等、地域を取り巻く社会情</p> | | |

| | | | | |
|--|--|--|-------------------|-----|
| | | 勢の変化があり、今後交通量の増加が見込まれるため、地元住民から歩道設置が強く要望されております。 | | |
| 事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等) | | | 事業全体 | 残事業 |
| | | 割引率 | 4% (2%) | |
| | | 総便益(B) | 24.4 億円 (36.5 億円) | — |
| | | 総費用(C) | 11.8 億円 (9.9 億円) | — |
| | | 費用便益比 (B/C) | 2.1 (3.7) | — |
| | | 感度分析 [交通量-10%] | 1.4 (2.5) | — |
| | <p>[定性的効果]</p> <p>当該路線は、大門小学校の学区内通学路になっておりますが、道路状況が悪いため迂回ルートを通学路として利用しているところですが、歩道設置により、歩行者の安全確保と歩車分離により渋滞が解消し、バス運行の定時性が確保されます。</p> <p>[その他特記事項]</p> | | | |

| | | |
|--------------------------|---|---|
| 事業の 進ちよく 状 況 | 事業進ちよく率% | 平成 29 年度末までの用地取得率は 79.4%、事業進捗率 78.2%となっています。 県道瀬谷柏尾（本郷その1地区）で、環状 4 号線から延長 500mの拡幅整備を平成 19 年度に完了しております。 |
| | 79% | |
| | 用地取得率% | |
| | 78% | |
| | 供用等の状況 | |
| 事業の課題 及び進ちよく 見 込 み | <p>用地取得に時間を要しておりますが、関係地権者との交渉では理解を得ております。</p> <p>移転先等の候補地に時間を要しますが、取得済み用地を暫定歩道として供用しており、部分的に歩道整備も行い整備効果は得られております。</p> <p>残りの用地取得件数は 5 件であり、平成 30 年度に 1 件、平成 31 年度に 3 件、平成 32 年度に 1 件取得見込みです。平成 32 年度を目途に完成を目指します。</p> | |
| その他 (コスト削減項目等) | 設計時に路床改良も含め最も経済的な舗装構成の検討を行うとともに、舗装の材料に再生材を使用するなど可能な限りコスト削減に努めます。 | |

| | | |
|-------------|---|--|
| その他 | - | |
| 添付資料 | 有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/> | |
| 対応方針 (案) | 継続 <input type="checkbox"/> | 計画通り(上記計画を実施) ※1 <input type="checkbox"/> |
| | | 一部見直し(上記計画を変更) ※2 <input type="checkbox"/> ----- 【見直し内容】 |
| | 中止 <input type="checkbox"/> | |

| | |
|-----------------------|---|
| 対応方針 (案) として 理由 | <p>本事業区間は、県道瀬谷柏尾で瀬谷区内の北西部地域と相鉄線瀬谷駅を結ぶバス路線ですが、朝夕は渋滞が発生し、歩行者の安全も脅かされている状況になっています。</p> <p>そこで、道路整備により歩行者の安全確保、バス運行の定時性の確保、並びに車両の渋滞解消を図るため、事業を継続し実施する必要があると判断しています。</p> |
|-----------------------|---|

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

位置図

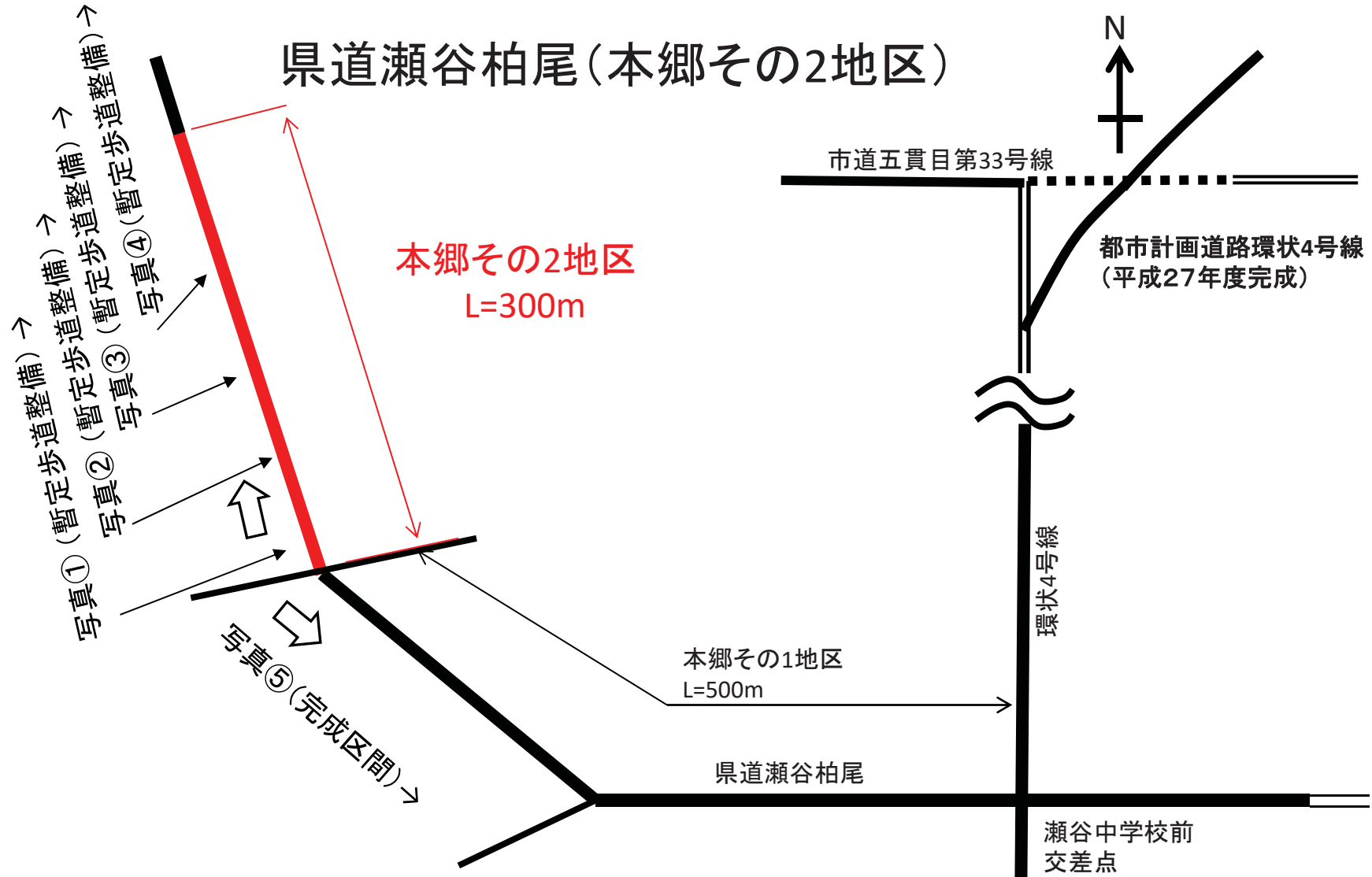


県道瀬谷柏尾(本郷その2地区)

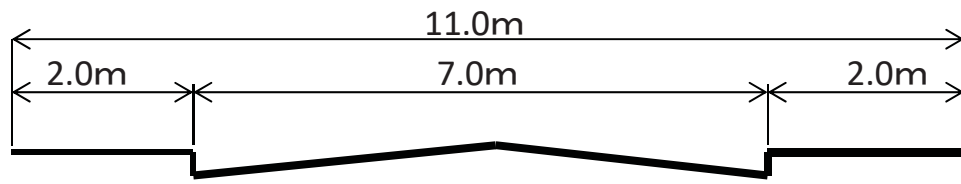


この地図の著作権は横浜市が保有します。平成30年10月5日

県道瀬谷柏尾(本郷その2地区)



標準断面図



| 凡 例 | |
|----------|--|
| 対象区間 | |
| 事業中区間 | |
| 完成(構成)区間 | |
| 未整備区間 | |

相鉄線瀬谷陸橋

計画平面図

歩道未整備区間

暫定歩道整備区間

歩道未整備区間

130m

本郷十字路

| | | |
|---|------|----|
| 1 | 歩道 | 緑色 |
| 2 | 車道 | 黄色 |
| 3 | 自転車道 | 青色 |
| 4 | 緑地 | 茶色 |
| 5 | その他 | 灰色 |

| | | |
|---|------|----|
| 1 | 歩道 | 緑色 |
| 2 | 車道 | 黄色 |
| 3 | 自転車道 | 青色 |
| 4 | 緑地 | 茶色 |
| 5 | その他 | 灰色 |

県道瀬谷柏尾(本郷その2地区)写真①暫定歩道整備



県道瀬谷柏尾(本郷その2地区)写真②暫定歩道整備



県道瀬谷柏尾(本郷その2地区)写真③ 暫定歩道整備



県道瀬谷柏尾(本郷その2地区)写真④ 暫定歩道整備



県道瀬谷柏尾(本郷その1地区)写真⑤ 完了区間



前回再評価内容との比較

| | 前回 (H25) | 今回 (H30) | 5年間の経過 |
|-----------------|--|---|---|
| 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | <p>近年、この地域は工場移転・規模縮小に伴う開発が進み、住宅が多く建設されています。</p> <p>また、環状4号線（上瀬谷地区）の都市計画道路整備の実施に伴い、交通流入が増加するものと思われます。地元からの歩道設置要望が強く望まれています。</p> | <p>近年、この地域は宅地開発が進み、住宅が多く建設されています。</p> <p>また、平成27年6月に旧上瀬谷通信施設が米軍から返還、平成28年3月に市道環状4号線上瀬谷地区の開通、瀬谷駅南口市街地再開発事業や二ツ橋北部土地区画整理事業の開始等、地域を取り巻く社会情勢の変化があり、今後交通量の増加が見込まれるため、地元住民から歩道設置が強く望まれています。</p> | <p>平成27年6月に旧上瀬谷通信施設が米軍から返還、平成28年3月に市道環状4号線上瀬谷地区の開通、瀬谷駅南口市街地再開発事業や二ツ橋北部土地区画整理事業開始等、近年、この地域は宅地開発が進み、住宅が多く建設されており、今後交通量の増加が見込まれます。</p> |
| 事業進捗率 | 56% (71%) | 79% | +23% |
| 用地取得率 | 66% (76%) | 78% | +12% |
| 供用等の状況 | 0m | 130m供用中 | 130m |
| 事業の進捗見込 | <p>用地取得に時間を要しておりますが、関係地権者との交渉では理解を得ております。</p> <p>移転先等の候補地に時間を要しますが、取得済み用地を暫定歩道として供用しており整備効果は得られております。</p> <p>平成29年度を目途に完成を目指します。</p> | <p>用地取得に時間を要しておりますが、関係地権者との交渉では理解を得ております。</p> <p>移転先等の候補地に時間を要しますが、取得済み用地を暫定歩道として供用しており、部分的に歩道整備も行い整備効果は得られております。</p> <p>残りの用地取得件数は5件であり、平成30年度に1件、平成31年度に3件、平成32年度に1件取得見込みです。平成32年度を目途に完成を目指します。</p> | <p>地元やスクールゾーン・防犯対策協議会から通学路の安全対策として歩道設置・歩道拡幅が強く要望されており、取得した用地については暫定的に歩道を設置・拡幅整備しています。</p> |

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として前回使用した事業進捗率を（ ）で示した。

事業進捗状況

県道瀬谷柏尾（本郷その2地区）

（単位：百万円）

| 年度 | 単年度事業費 | | | 事業進捗率 | | | 用地取得 | | |
|-----|--------|-------|-------|-------|---------|---------|-----------------------|---------------------|---------|
| | 合計 | 用地・補償 | 工事・委託 | 合計※1 | 用地・補償※2 | 工事・委託※2 | 取得面積(m ²) | 累計(m ²) | 用地取得率※3 |
| H18 | 5 | 0 | 5 | 0.6% | 0.0% | 0.6% | 0 | 0 | 0.0% |
| H19 | 7 | 0 | 7 | 1.3% | 0.0% | 1.3% | 0 | 0 | 0.0% |
| H20 | 277 | 271 | 6 | 29.6% | 27.7% | 1.9% | 405 | 405 | 27.0% |
| H21 | 169 | 154 | 15 | 46.9% | 43.4% | 3.5% | 477 | 881 | 58.7% |
| H22 | 22 | 7 | 15 | 49.1% | 44.1% | 5.0% | 0 | 881 | 58.7% |
| H23 | 48 | 48 | 0 | 54.1% | 49.1% | 5.0% | 79 | 960 | 64.0% |
| H24 | 17 | 13 | 4 | 55.8% | 50.4% | 5.4% | 36 | 997 | 66.4% |
| H25 | 39 | 38 | 1 | 59.8% | 54.3% | 5.5% | 33 | 1,030 | 68.7% |
| H26 | 87 | 87 | 0 | 68.7% | 63.2% | 5.5% | 91 | 1,121 | 74.7% |
| H27 | 59 | 58 | 1 | 74.8% | 69.1% | 5.7% | 51 | 1,172 | 78.2% |
| H28 | 15 | 0 | 15 | 76.3% | 69.1% | 7.1% | 0 | 1,172 | 78.2% |
| H29 | 30 | 0 | 30 | 79.4% | 69.1% | 10.2% | 0 | 1,172 | 78.2% |
| 合計 | 776 | 676 | 100 | | | | 1,172 | | |

- ※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和
- ※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合
- ※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

事業進捗状況 県道瀬谷柏尾（本郷2）

